### 平成30年度

## 登録左官基幹技能者認定試験問題 (60分)

#### 中国ブロック

受講番号	氏 名	

- 1. 試験時間 60分
- 2. 問題数 25題(四肢択一法)
- 3. 注意事項
  - (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
  - (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
  - (3) 本冊子は、表紙を含めて11頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合には、黙って手を上げて申し出てください。
  - (4) 試験開始の合図で始めてください。
  - (5) 解答の方法は、次のとおりです。
    - ①正解と思うものを、 $1 \sim 4$  の番号の中から 1 つだけ選んで、解答用紙の解答欄に その番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
    - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消し た後、新しい解答を記入してください。

消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。

- ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を 0点とすることがあります。
- (6)電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、 使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、 漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験 開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席していてください。

### 一般社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

# 問題 1 建設技能労働者のうち、登録基幹技能者の目標像に関して、**最も不適当**なものはどれか。

- 1. 将来展望
- 2. 老年者再就職
- 3. 適正な評価
- 4. 処遇改善

#### 問題2 登録左官基幹技能者の仕事内容に関して、最も不適当なものはどれか。

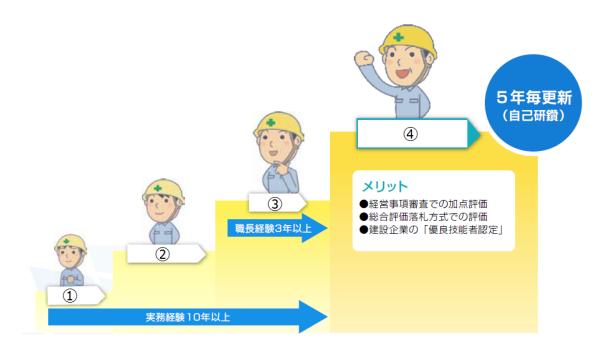
- 1. 施工管理技術者への施工方法の提案や調整を行う
- 2. 他職種の登録基幹技能者や職長に対して前工程や後工程に配慮した連絡調整を行う。
- 3. 登録左官基幹技能者の部下の技能労働者の適切な現場内配置を行う。
- 4. 他職種の部下の技能労働者の作業を含む施工に係る指示や指導を行う。

#### 問題3 登録基幹技能者の確保・育成の意義に関して、最も不適当なものはどれか。

登録基幹技能者は工事の生産性の向上や1.品質・コスト・安全面で質の良い施工を確保するために大きな役割を担う。こうした登録基幹技能者を確保・育成・活用を促進することにより、2.建設生産現場の作業スピードの向上・3.建設生産物の品質の確保のみならず、登録基幹技能者を雇用・育成する優良な専門工事業者の受注機会の拡大が図られ、さらにはそれを通じた4.建設産業の担い手の確保・育成に大きく寄与することが期待されている。

- 1. 品質・コスト・安全面で質の良い施工を確保
- 2. 建設生産現場の作業スピードの向上
- 3. 建設生産物の品質の確保
- 4. 建設産業の担い手の確保・育成に大きく寄与

#### 問題4 建設技能労働者目標像の各職階の名称に関して、最も不適当なものはどれか。



- 1. ①見習い
- 2. ②一般技能工
- 3. ③職長
- 4. ④熟練技能者

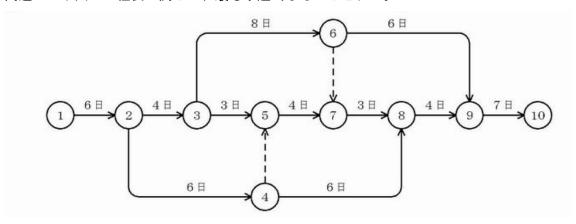
#### 問題5 登録基幹技能者に求められる能力に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1. 十分な経験を有し、熟達した作業能力という観点では、一般の技能者を指揮・監督できるだけの十分な作業能力を有すること。
- 2. 技術の進展等に的確に対応した知識という観点では、元請の技術者の示す施工計画等から、現場に適した技能面からの施工方法、作業手順、工夫の提案能力を有すること
- 3. 現場をまとめ、体系だった効率的な作業を実施するための管理能力という観点では、 他現場の施工管理技術者との調整能力を有すること
- 4. 現場をまとめ、体系だった効率的な作業を実施するための管理能力という観点では、 一般の技能者に対する指導、統率力を有すること

#### 問題6 OJT教育における一般事項に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1. OJT とは、職場の上司が部下の育成のために、日常の仕事を離れて行う指導・教育のことである。
- 2. Off-OJT 教育は、日常の仕事を離れて行われる集合研修・教育のことである。
- 3. OJT とは、On the Job Training の略称である。
- 4. OJT では、個々の教育ニーズを踏まえ、各職階に求められる役割・技能と教育・訓練事項を定めて、これらの教育訓練計画にそって、個別の指導をすることが必要である。

#### 問題7 下図の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



- 1. クリティカルパスは、 $1\rightarrow 2\rightarrow 3\rightarrow 6\rightarrow 7\rightarrow 8\rightarrow 9\rightarrow 10$  である。
- 2. 作業⑦→⑧の最早開始日は、18日である。
- 3. この現場の工期は、32日である。
- 4. 作業⑥→⑨のトータルフロートは、2日である。

### 問題8 労働安全衛生法で定められている、作業員が守らなければならない主要な義務に 関して、**最も不適当**なものはどれか。

- 1. 安全状態を保つ義務
- 2. 安全措置を講じる義務
- 3. 保護具の着用・使用の禁止
- 4. 危機行動の禁止

# 問題9 建設業法上、契約書面に記載しなければならない事項に関して、**最も不適当**なものはどれか。

- 1. 工事内容
- 2. 近隣家屋の調査内容
- 3. 工事着手の時期および工事完成の時期
- 4. 請負代金の全部または一部の前金払または出来形部分に対する支払の定めをするときは、その支払の時期および方法

#### 問題10 ブレーンストーミング(BS)に関して、**最も不適当**なものはどれか。

- 1. BSでは、アイデアの質にこだわらず、アイデアを量産することに目的をおく。
- 2. 誰かのアイデアに対してそこから連想されるもの、その他のアイデアとの結合を意識することで様々なアイデアへと発展させることができる。
- 3. BS 法とは、アレックス・F・オズボーンによって考案された会議方式のひとつ。集団思考、集団発想法、課題抽出ともいう。
- 4. BS は、個人でアイデアを出すことによって個性のある発想の誘発を期待する技法である。

#### 問題11 単層下地通気構法に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1. ステープルは、M線以上の線径で、脚長を 25mm 以上のものとする。
- 2. 通気層より躯体側の防水紙は、透湿防水シートとする。
- 3. 質量 800g/m<sup>3</sup>以上のリブラス、リブ系ラス、防水紙付きリブ系ラス、または同等以上の性能を有するものとする。
- 4. 防水紙は鎧張りで、継ぎ目部は幅 90mm 以上重ねる。

#### 問題12 左官用語の解説に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1. 防水モルタルの施工は、主として左官工事業者が行う。
- 2. ドライアウトとは、モルタルが水和反応を完了するために必要な水分が下地に吸収 され不足し、完全硬化できない状態になることである。
- 3. ブリージングとはコンクリートおよびモルタルの練り混ぜ水の一部が分離して上方 に移動する現象である。
- 4. ブリードとは、ひび割れ部にセメントペースト等の結合材を注入すること。

問題13 コンクリート表面の処理後の表面状態と処理方法に関して、**最も不適当**なものはどれか。

	I&⊂1いい。	
1.	高圧水洗浄の例(吐出圧 50N/mm²)	
2.	専用シートによる凹凸処理	
3.	専用シートによる起毛処理	
4.	カップサンダーがけ	

#### 問題14 仕上塗材の種類と呼び名の組み合わせで、最も不適当なものはどれか。

	仕上塗材の種類	呼び名
1.	内装せっこう系厚塗り仕上塗材	内装厚塗材G
2.	内装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材	内装薄塗材E
3.	内装消石灰・ドロマイトプラスター系薄付け仕上塗材	内装薄塗材L
4.	内装水溶性樹脂系薄付け仕上塗材	内装薄塗材C

#### 問題15 左官工事に要求される品質管理に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1. 仕上面が平坦であること。
- 2. 仕上面の状態が全壁面に関して一様であること。
- 3. 設計上要求される耐火、防水、遮音、吸音、断熱、湿温調節などの性能を備えていること。
- 4. 必要な強度があり、表面硬度が高いこと。

#### 問題16 ALCパネルおよびセルフレベリング材に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1. セメント系セルフレベリング材は鉄部の防錆効果を有する。
- 2. ALC パネル下地は、工場でオートクレイブ(高温・高圧養生)した超軽量コンクリートパネルである。
- 3. せっこう系セルフレベリング材は強度の高い、 $\beta$ 型せっこうを用い、これに凝結調整材、高流動化剤及び骨材を混合したものである。
- 4. コンクリートに比べ吸水性が大きく、強度・剛性とも小さく、一般に厚手の左官塗りを行ってはならない。

# 問題 1 7 塗り壁の故障の原因、内容、是正措置とそれぞれの組み合わせに関して、**最も 不適当**なものはどれか

- 1. 硫化物を含む砂は、変色を発生しやすくするので、取り替える処理が必要である。
- 2. 富調合による上塗りは、ひび割れや剥離を発生させるので、下塗りほど貧調合にする。
- 3. エフロレッセンスは、しみ・はく離を発生するので、除去することが必要である。
- 4. 未乾燥のセメントモルタルにせっこうプラスターを塗り付けると、はく離やひび割れが発生するので、セメントモルタルを十分に乾燥させてから塗り付ける。

#### 問題18 劣化のメカニズムに関して、最も不適当なものはどれか。

- 1. コンクリートの下地にセメントモルタルを塗りつけてある左官仕上げの壁は、
- <u>2. その境界面</u>では、<u>3. 異なった変形挙動</u>がおきる。これを<u>4. サーマルムーブ</u> <u>メント</u>という。
- 1. コンクリートの下地にセメントモルタルを塗りつけてある左官仕上げの壁
- 2. その境界面
- 3. 異なった変形挙動
- 4. サーマルムーブメント

#### 問題19 建設工事の特徴に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1. 建設工事は、決められた施工方法で毎回同じものを生産する必要がある。
- 2. 建設工事は、目的物が土地の上に固着してつくられるので、その場所に出向いて工事をする必要がある。
- 3. 建設工事は屋外の工事が多く、降雨、出水、土質など天候・自然現象の不確定要素に 左右される。
- 4. 建設工事は現地生産のため、現場での社会的制約を受けることとなり、安全や環境対策を前提とした管理が重要となる。

#### 問題20 事前調査に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1. 建設工事は、自然を相手に取り組むものであることから、現場の自然現象や敷地条件、周辺の状況など、事前に調査する必要がある。
- 2. 契約内容に関する設計図書、見積条件書、質疑応答書、数量調書等、契約内容をしっかりと把握する必要がある。
- 3. 事前調査の段階から複数の施工方法を立案し、施工手順、仮設・機械・設備等の比較 検討を行う。
- 4. 工事に着手する前に契約内容を検討し、もし問題点があった場合は発注者と打合せ、 基本的に文書で記録を残す。

#### 問題21 建設工事費の構成に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1. 直接工事費とは、工事目的物を作るのに直接要する費用である。
- 2. 建設工事費は直接工事費と共通費で構成されている。
- 3. 共通仮設費とは、工事施工にあたり工事現場を管理運営するために必要な費用であり、 現場従業員の給与手当等や労務管理にかかる費用などを指す。
- 4. 一般管理費等とは、工事施工にあたる受注者の継続運営に必要な費用としての一般管理費と付加利益を指す。

#### 問題22 下図のようなコンクリートの特徴に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1. 図-2のように、まだ固まらないコンクリートに指を差し込むと遊離水がたまる。
- 2. 遊離水はコンクリートが硬化する前に全て上昇し、コンクリート中には残らない。
- 3. 図─1の上部のように、コンクリート打設直後から遊離水とよばれる硬化に不要な水がコンクリート中を上昇することをブリージング現象と言う。
- 4. 図-2 のように、硬化後(打設後  $15 \sim 30$  分後) 再振動をかけると不要な水や空気を強制的に追い出すことができ、効率の良い締固めができる。

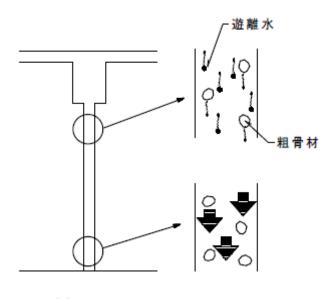


図-1

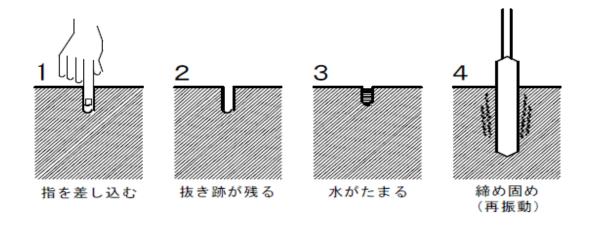


図-2

# 問題23 わが国建設業における労働災害の現状について、次の記述のうち**最も不適当**なものはどれか。

- 1. 労働災害とは労働者が就業中や通勤途上などで負傷、疾病、障害、死亡する災害である。
- 2. 建設業の安全対策が難しい理由の一つは、作業内容が日々変化するため慣れによる 安全効果が期待しにくいことが挙げられる。
- 3. 建設業は、他産業と比べて労働災害発生率が高い産業である。
- 4. 近年の労働災害減少の最大の要因は、建設投資の減少である。

#### 問題24 各種労働災害防止について、次の記述のうち最も不適当なものはどれか。

- 1. 高さが 2m 以上の所での作業を行う場合、基本的には作業床を設置する。
- 2. 解体工事は短期間で終わるので、石綿による健康障害防止対策を考える必要はない。
- 3. リフォーム工事は、小規模工事が多いため必要な安全設備が設置できないことが懸 念される。
- 4. 熱中症予防対策として、WBGT(暑さ指数)を測定することは有効である。

### 問題25 法で定められた建設現場における安全管理について、次の記述のうち**最も不適 当**なものはどれか。

- 1. 複数業者が混在する 50 人の建設現場では、安全管理のために元請業者は統括安全衛生責任者を選任する必要がある。
- 2. 作業主任者を選任しなければならない作業の中に、型枠支保工の解体は含まれる。
- 3. 事業者は、作業員を雇い入れた時、作業内容を説明すれば特に安全衛生教育を行う 必要はない。
- 4. 現場では、整理、整頓、清潔、清掃の「4S」に努めなければならない。